

下松高校と華陵高校の再編統合により設置する新高校に関する提言書について

1 新高校の魅力創造委員会について

(1) 目 的

「県立高校再編整備計画 後期実施計画」に基づき設置する新高校について、学校の魅力・特色づくりに向けた提言等を行う。

(2) 組 織

- ・学識経験者（大学教授等）
- ・両校関係者（校長・生徒・卒業生・同窓会・P T A・学校運営協議会）
- ・地元自治体（下松市）
- ・地元中学校長会（下松市）

(3) 開催状況

日 程	会 場	内 容
6月16日（火）	華陵高校 会議室	【熟議】 下松高校及び華陵高校の特色と魅力について 新高校の特色化・魅力化について
8月5日（水）	下松高校 第2会議室	【熟議】 新高校のめざす学校像、設置学科における教育の方向性、部活動等について
8月24日（月）	末武公民館 視聴覚室	【協議】 新高校に係る提言内容について

(4) 提 言 書 → 別紙

2 今後のスケジュール

令和8年11月 下松高校と華陵高校の学校運営協議会を合同で実施する際に、提言書について説明

令和9年 3月 新高校のコンセプト、スクール・ミッション、設置学科の分類、教育の方向性、学級数、部活動について公表

下松高校と華陵高校の再編統合により設置する新高校について（提言）

1 めざす学校像について

- ・ 地域や社会と連携・協働した探究的な学びや、国際交流体験による学びなどを通して、ふるさとへの誇りと愛着を育み、グローバルな視点に立って地域や社会の発展に寄与できる人材（グローバル人材）を育成する学校
- ・ 生涯にわたって学び続ける態度を身に付け、社会の変化に柔軟に対応して、自らのあり方や生き方を考え、主体的に未来を切り拓いていく人材を育成する学校

2 設置学科における教育の方向性について

（1）両学科に共通すること

- ・ 地域・大学・産業界等との連携・協働のもと、デジタル技術の活用や文理にとらわれない幅広い学びを通して、多面的な視点で課題を解決する力を育成
- ・ 地域の課題に関する探究活動や世界の多様な文化に触れる学習活動を通して、地域と世界を結び付けて考え、様々な人々と協働して行動できる力を育成
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現することにより、自ら進路を切り拓き、学び続ける力を育成

（2）普通教育を主とする学科

- ・ 確かな学力を育成するとともに、多様な学習ニーズに対応した柔軟な教育課程を編成し、自らの将来を見据えて主体的に進路を選択する力を育成
- ・ 生成AIやデータを活用した学びを通して、様々な視点から物事を捉え、自ら思考・判断する力や、地域や社会の未来を創造し、新たな価値を生み出す力を育成

（3）外国語に関する学科

- ・ 確かな学力を育成するとともに、グローバル社会に求められる実践的なコミュニケーション能力をはじめ、世界に通用する高い英語力を育成
- ・ 海外の姉妹校等との相互交流を通して、豊かな国際感覚とグローバルな視野を養い、多様な文化や価値観を尊重する態度を育成

3 部活動について

- ・ 両校の部活動の伝統や実績、特色を継承・発展させ、生徒一人ひとりが主体的に活動できる魅力ある部活動を推進
- ・ 部活動を通して、目標に向かって努力する姿勢、粘り強く挑戦し続ける力、コミュニケーション能力、主体性や協調性を育成
- ・ 地域との交流や連携・協働を推進することを通して、豊かな人間性や社会性を育成

4 教育環境について

- ・ 保護者や地域住民が学校教育に参画しやすい環境を整え、地域とともにある学校づくりを推進
- ・ 学校行事や部活動、生徒会活動において、生徒主体で企画・運営し、生徒が活躍できる機会を創出
- ・ 新たな制服の導入や生徒による情報発信を行うなど、中学生や地域に対して新高校の魅力やブランドイメージを周知
- ・ 新高校における教育活動が円滑かつ効果的に実施できるよう、ALTを優先的に配置するとともに、施設・設備を充実
- ・ 開校前から両校の生徒・教職員による交流活動を推進し、新高校づくりへの参画意識を醸成
- ・ 両校の伝統や文化、特色ある教育活動を継承・発展させるとともに、それぞれの強みを融合し、新たな価値を創造する学校づくりを推進